

ユーシン

景況レポート

Number.123
(2025.1～3月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業229企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし

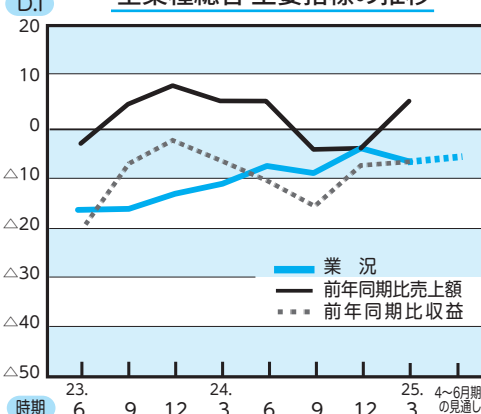
概況(1月▶3月期)

業況は小売業で改善

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△7.4と、2024年10月～12月期(前期)の調査より△3.5ポイント低下し、景況感はやや悪化しました。業種別では、小売業で前期比+2.5ポイント改善しましたが、製造業で同比△4.2ポイント、卸売業で同比△6.4ポイント、サービス業で同比△0.1ポイント、建設業で同比△5.5ポイント、不動産業で同比△11.2ポイントの低下となりました。項目別では、売上額判断D.Iが0.8と前期比△0.9ポイント低下しましたが、収益判断D.Iは△8.3と同比+1.7ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが5.3で前期比+8.9ポイント、同収益判断D.Iが△7.5で同比+0.8ポイントと、ともに改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△15.3で前期比+3.5ポイントの改善となり、人手不足感はやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△0.5となり、前期と比べて改善しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比+0.5ポイントの上昇となりました。借入難易度については容易と回答した事業者の割合は、前期と比べてわずかに増加しました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が33.2%、「原材料高」が31.9%、「売上の停滞・減少」が27.9%と上位に挙げられました。また、特別調査の「外国人・海外情勢と中小企業」について、貴社では、売り上げ全体に占める外国人(旅行客を含む)、もしくは外国企業向けの売り上げ(輸出を含む)はどれくらいですかとの質問に対し、売り上げがある企業の中で最も多かった回答は「10%未満」の16.2%となりました。

全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8～9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

業況の見通し判断D.Iは△5.7、当期実績比+1.7ポイント改善の見込

来期は、製造業、卸売業、不動産業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+3.6ポイント、収益判断D.Iが同比+7.0ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△9.1ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比△1.7ポイント、残業時間判断D.Iについては同比△0.4ポイントと、ともに低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が60.7%、「販路を広げる」が40.2%、「人材を確保する」が22.3%と上位に挙げられました。

景況天気図

【この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました】

業種名	時期	6年10月～12月	7年1月～3月	7年4月～6月 見通し	概	要
総合					業況判断D.Iは、△3.5ポイント低下し△7.4。来期は、+1.7ポイント改善し△5.7の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、△4.2ポイント低下し△12.5。来期は、+11.1ポイント改善し△1.4の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、△6.4ポイント低下し△6.4。来期は、+6.4ポイント改善し0.0の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、+2.5ポイント改善し△9.7。来期は、△5.0ポイント低下し△14.7の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、△0.1ポイント低下し△6.5。来期は、△6.4ポイント低下の△12.9の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、△5.5ポイント低下し11.1。来期は、△11.1ポイント低下し0.0の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、△11.2ポイント低下し△22.3。来期は、+11.2ポイント改善し△11.1の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

【業 況】

1～3月の 実績	11.1	65.3	23.6
4～6月の 見通し	13.9	70.8	15.3

【売上額】

1～3月の 実績	18.1	56.9	25.0
4～6月の 見通し	18.1	73.6	8.3

【原材料価格】

1～3月の 実績	27.8	72.2	0.0
4～6月の 見通し	18.1	80.5	1.4

【収 益】

1～3月の 実績	12.5	62.5	25.0
4～6月の 見通し	16.7	73.6	9.7

■ 増加・やや増加(良い・やや良い)

□ 変わらず(変化無し)

■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△12.5、前期比△4.2ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△6.9と前期比△4.1ポイント低下しましたが、収益判断D.Iが△12.5と同比+2.8ポイントの改善となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが1.4で前期比+14.0ポイント、同収益判断D.Iが△11.1で同比+11.1ポイントと、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△13.9で前期比横ばいとなり、人手不足感に変化はありませんでした。また、前期比残業時間D.Iは△1.4、前期比+5.5ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1%（前期9.7%）、「予定あり」が11.1%（同9.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は2.8%（前期8.3%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が54.2%、「同業者間の競争激化」が31.9%、「売上の停滞・減少」が29.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

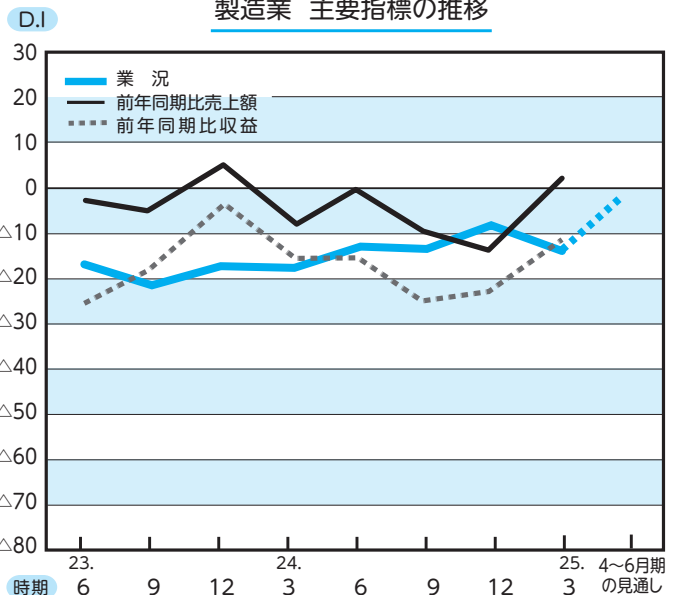
業況の見通し判断D.Iは△1.4、
当期実績比+11.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+16.7ポイント、収益判断D.Iが同比+19.5ポイントとなり、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△4.2ポイントと、低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比△4.1ポイントと低下の見通し、残業時間判断D.Iは同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が66.7%、「販路を広げる」が50.0%、「人材を確保する」が26.4%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



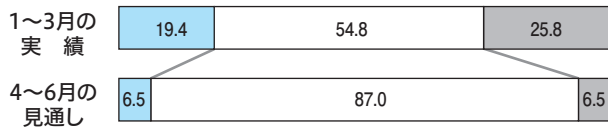
調査員のコメントから

- 手作りのソーセージ、ハム、ベーコン製造。イベントに出店する機会が増加し、売上高増加。
- 金属加工業。親会社の不正により受注減少も、4月には例年通りに戻る見込み。

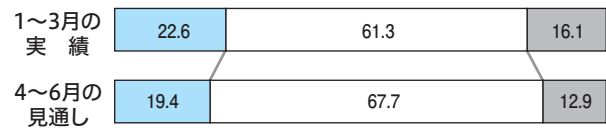
■ 卸 売 業

回答企業数31企業(回答率93.9%)

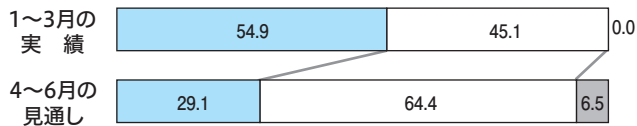
【業 況】



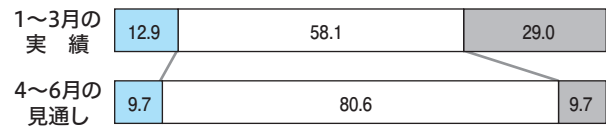
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加（良い・やや良い） □ 変わらず（変化無し） ■ やや減少・減少（やや悪い・悪い）

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△6.4、前期比△6.4ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが6.5で前期比横ばい、収益判断D.Iが△16.1ポイントで同比△9.7ポイントの低下となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが12.9で前期比+6.5ポイントの上昇となりましたが、同収益判断D.Iが△9.7で同比△12.9ポイントの低下となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.7で前期比+9.6ポイントの低下となり、人手不足感が緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比+3.2ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期9.7%）、「予定あり」が3.2%（同3.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%（前期3.2%）となりました。

経営上の問題点では、「仕入先からの値上要請」が38.7%、「同業者間の競争激化」が32.3%、「売上の停滞・減少」が29.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

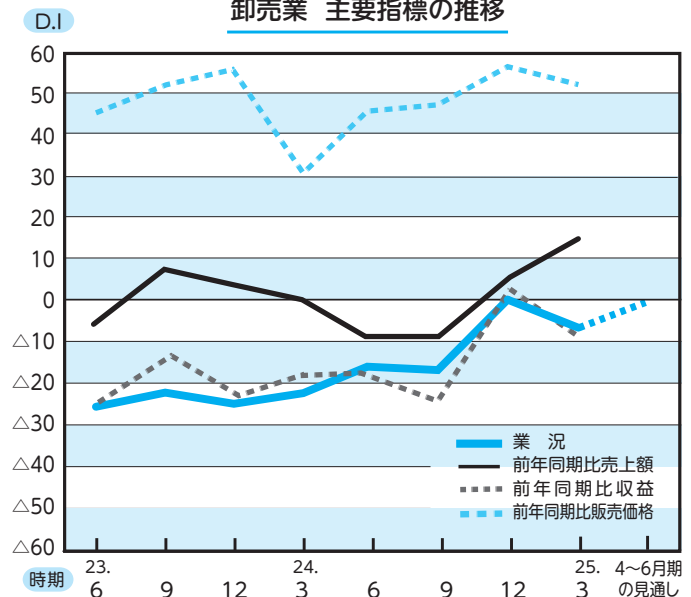
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期実績比+6.4ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比+16.1ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△25.8ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.Iとともに横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が67.7%、「販路を広げる」が61.3%、「情報力の強化」が22.6%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



調査員のコメントから

- 住宅関連商品卸売。住宅新築工事は減少傾向も、リフォーム等の工事件数は増加傾向。仕入単価上昇につき、販管費の見直しが必要。

■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

【業 況】

1～3月の 実 績	9.8	70.7	19.5
4～6月の 見通し	7.3	70.7	22.0

【売上額】

1～3月の 実 績	24.4	61.0	14.6
4～6月の 見通し	17.1	68.3	14.6

【仕入価格】

1～3月の 実 績	43.9	56.1	0.0
4～6月の 見通し	26.8	70.8	2.4

【収 益】

1～3月の 実 績	7.3	75.6	17.1
4～6月の 見通し	7.3	80.5	12.2

■ 増加・やや増加（良い・やや良い） □ 変わらず（変化無し） ■ やや減少・減少（やや悪い・悪い）

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△9.7、前期比+2.5ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが9.8と前期比+4.9ポイント、収益判断D.Iが△9.8と同比+2.4ポイントとなり、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが9.8となり前期比+24.5ポイント、同収益判断D.Iが△9.7で同比+7.4ポイントとなり、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.0と前期比△2.5ポイントの低下となり、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△2.4と前期比+4.9ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.8%（前期7.3%）、「予定あり」が2.4%（同12.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は7.0%（前期2.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が36.6%、「大型店との競争激化」と「利幅の縮小」がともに31.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

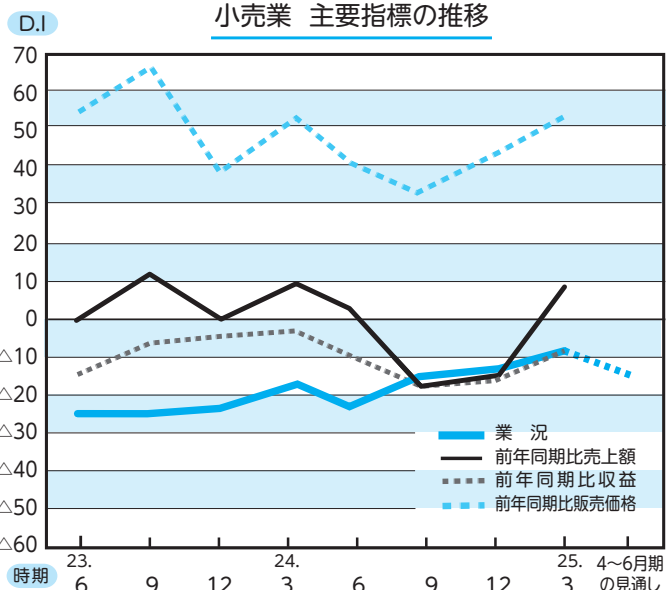
業況の見通し判断D.Iは△14.7、当期実績比△5.0ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△7.3ポイントの低下、収益判断D.Iが同比+4.9ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△21.9ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が65.9%、「品揃えを改善する」が34.1%、「宣伝・広告の強化」が17.1%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



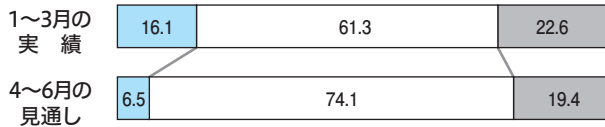
調査員のコメントから

- 燃料販売業。ガソリン補助金の縮小により販売価格を上げざるを得ない。表面上の売上高は増加も、利幅は変わらない状況が続く。

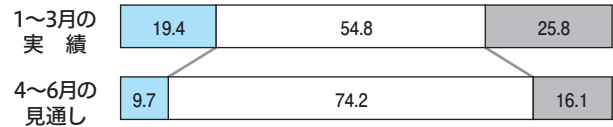
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

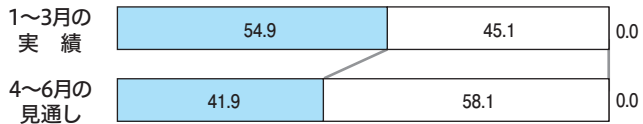
【業 況】



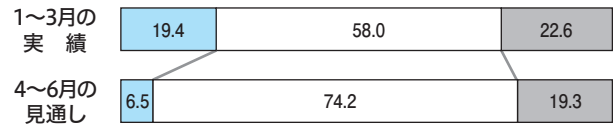
【売上額】



【材料価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加（良い・やや良い） □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△6.5、前期比△0.1ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△6.4と前期比+6.5ポイント、収益判断D.Iが△3.2と同比+12.9ポイントと、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△6.5となり前期比+6.4ポイント、同収益判断D.Iが△13.0で同比+3.1ポイントと、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.4と前期比+3.2ポイントとなり、人手不足感はやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは3.3と前期比+6.5ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期12.9%）、「予定あり」が9.7%（同9.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.9%（前期6.5%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が45.2%、「材料価格の上昇」が35.5%、「売り上げの停滞・減少」が22.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

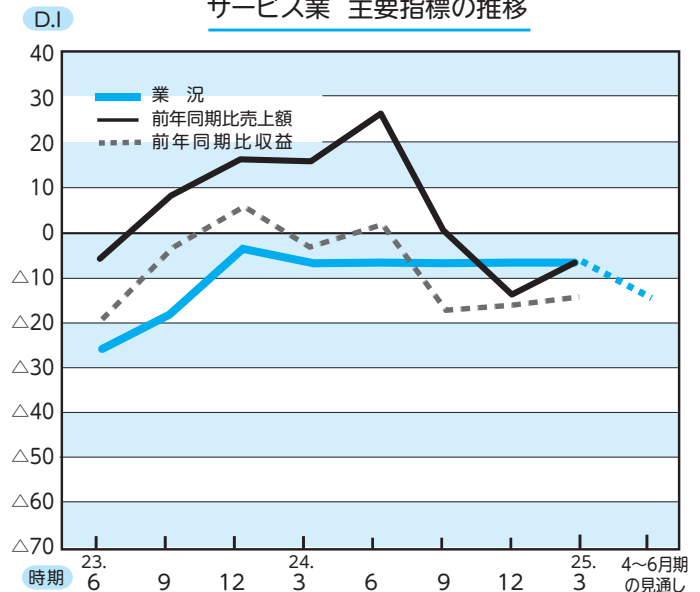
業況の見通し判断D.Iは△12.9、当期実績比△6.4ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比△9.6ポイントの低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△13.0ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+3.2ポイント改善の見通しですが、残業時間判断D.Iは同比△3.3ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.6%、「販路を広げる」が48.4%、「広告・宣伝の強化」が22.6%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



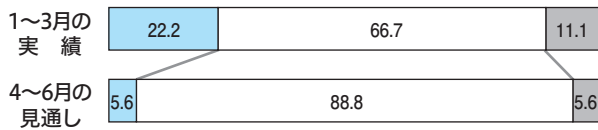
調査員のコメントから

- コンビニ経営。外国人のお客様が増加しており、トラブル等を防ぐため円滑に対応できる取り組みを強化する必要がある。

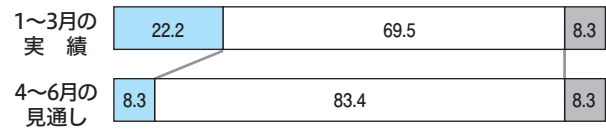
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

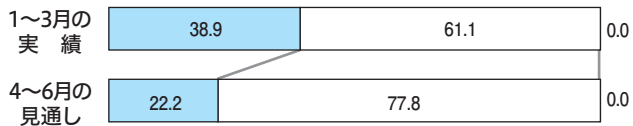
【業 況】



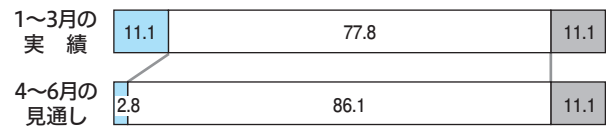
【売上額】



【材料価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加（良い・やや良い） □ 変わらず（変化無し） ■ やや減少・減少（やや悪い・悪い）

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは11.1、前期比△5.5%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが13.9と前期比△5.5%、受注残判断D.Iは5.6と同比△8.2%と、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが16.7で前期比△13.9%、同収益判断D.Iが5.5で同比△16.7%と、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△13.9と前期比+11.1%の改善となり、人手不足感は緩和しました。前期比残業時間D.Iは△2.8と前期比△11.1%の低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%（前期16.7%）、「予定あり」が8.3%（同13.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.6%（前期8.3%）となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が63.9%、「同業者間の競争激化」が30.6%、「人手不足」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

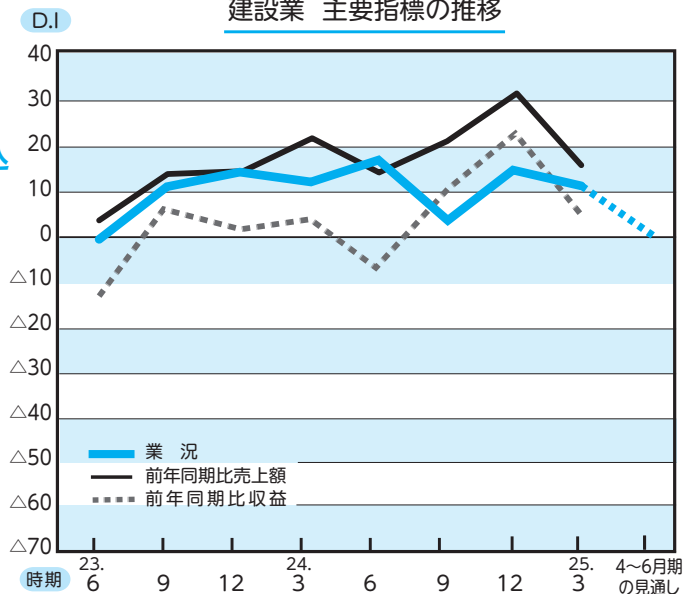
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期実績比△11.1%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△13.9%、収益判断D.Iが同比△8.3%と、ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△16.7%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比△5.6%低下の見通し、残業時間判断D.Iは同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が66.7%、「人材を確保する」が44.4%、「販路を広げる」が38.9%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



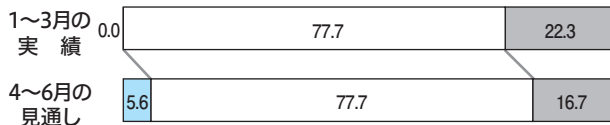
調査員のコメントから

- 取引先との交渉の成果が表れ、徐々にではあるが価格転嫁ができつつある。
- 物価高騰が続いており、収益の悪化は課題であり続けている。

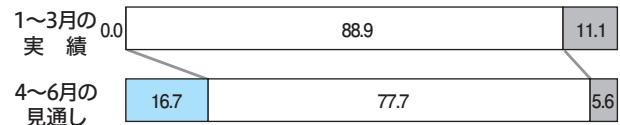
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

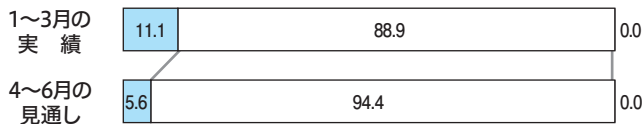
【業 況】



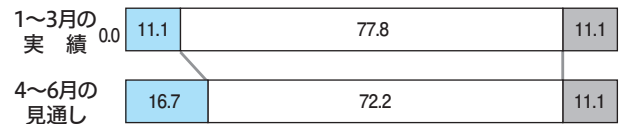
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△22.3、前期比△11.2ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△11.1となり前期比△5.6ポイントの低下、収益判断D.Iが0.0となり同比+11.1ポイント改善となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△5.5となり前期比+5.6ポイントの改善、同収益判断D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1と前期比+5.6ポイントとなり、人手不足感は緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは5.6で前期比+11.2ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1%（前期11.1%）、「予定あり」が11.1%（同11.1%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が44.4%、「売上の停滞・減少」が27.8%、「商品物件の不足」が22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

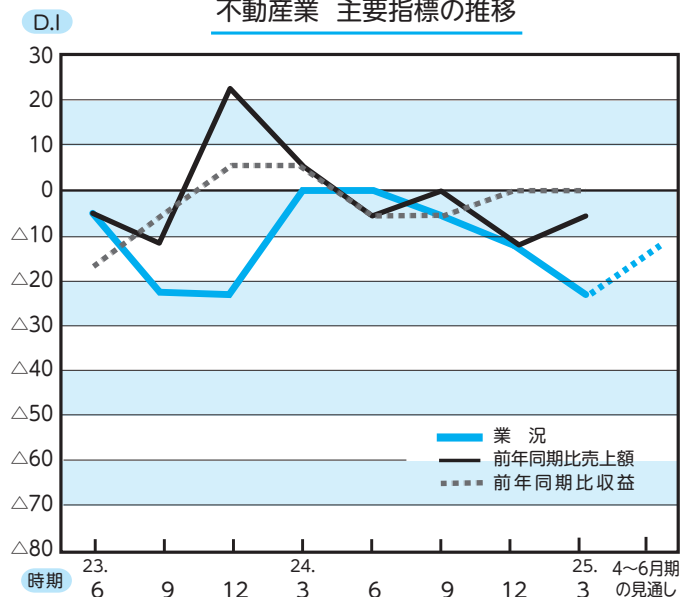
業況の見通し判断D.Iは△11.1、当期実績比+11.2ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+22.2ポイント、収益判断D.Iが同比+5.6ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比+5.5ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が44.4%、「情報力の強化」「宣伝・広告の強化」が38.9%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

- 自治体の空き家バンクと連携し、営業を行っている。
- 地価の変動は小さいものの、マンションの価格は上昇傾向にある。

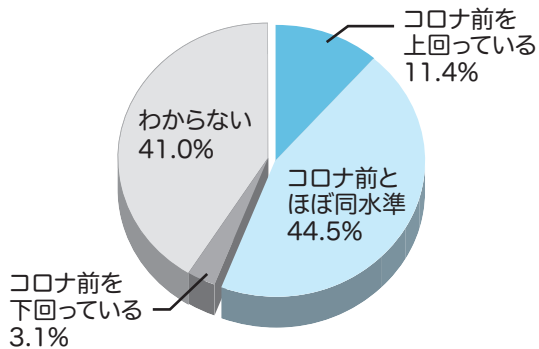
特別調査

外国人・海外情勢と中小企業

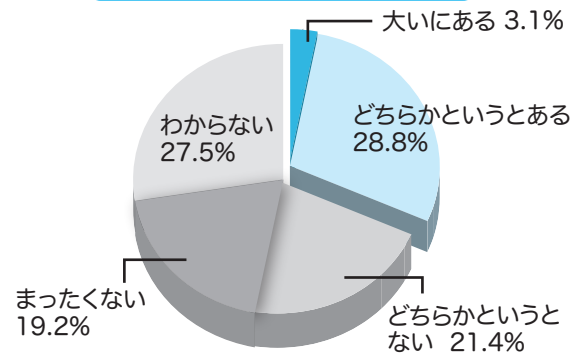
問1

昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。

外国人との接触機会



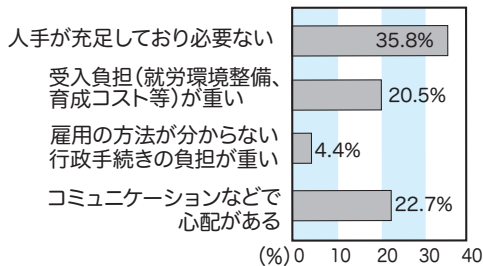
ビジネスチャンスを増やす意向



問2

貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合をお答えください。また、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由をお答えください。

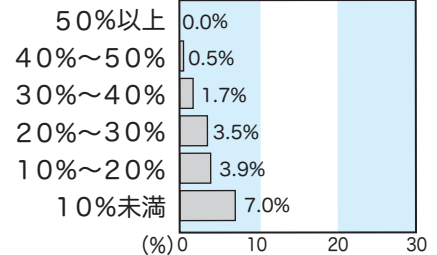
外国人労働者を雇用していない理由



雇用している 16.6%

雇用していない 83.4%

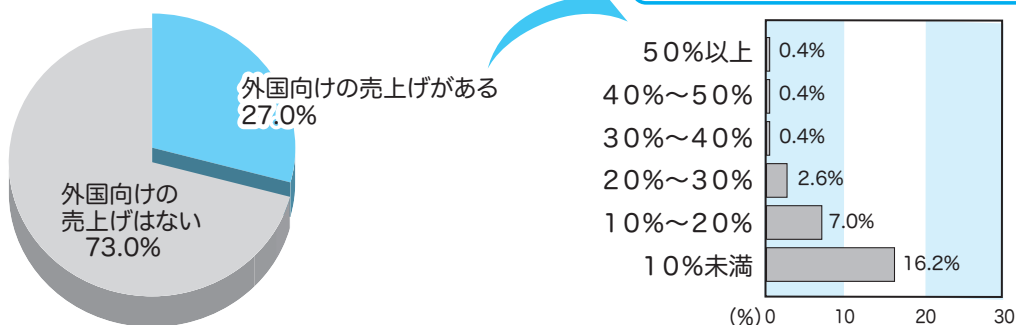
従業員全体に占める外国人労働者の割合



問3

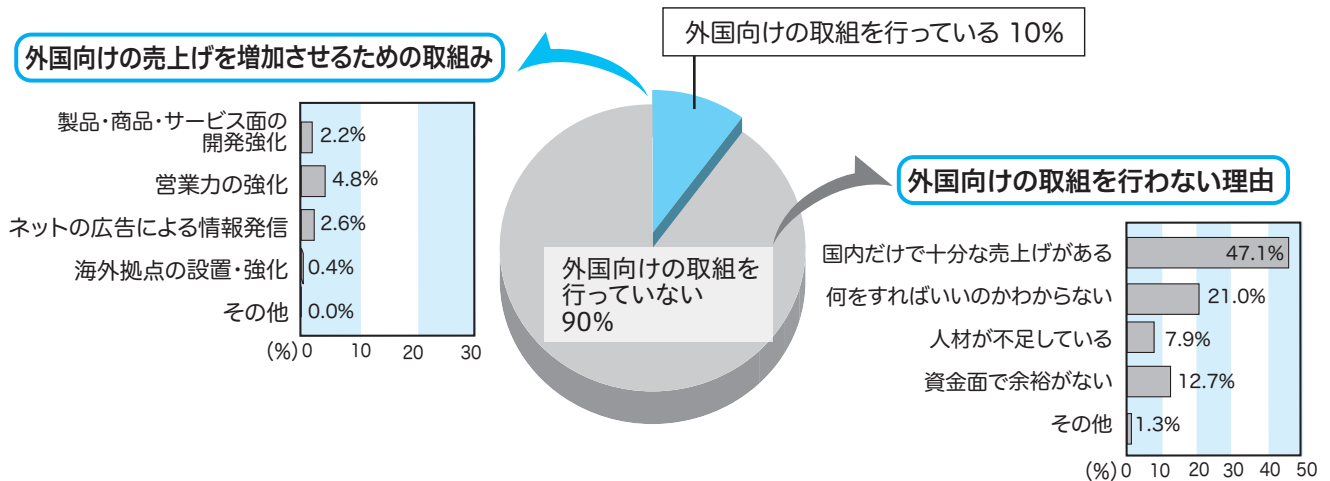
貴社では、売上全体に占める外国人(旅行客を含む)、もしくは外国企業向けの売上げ(輸出を含む)はどれくらいですか。

外国人・外国企業向けの売上げの割合



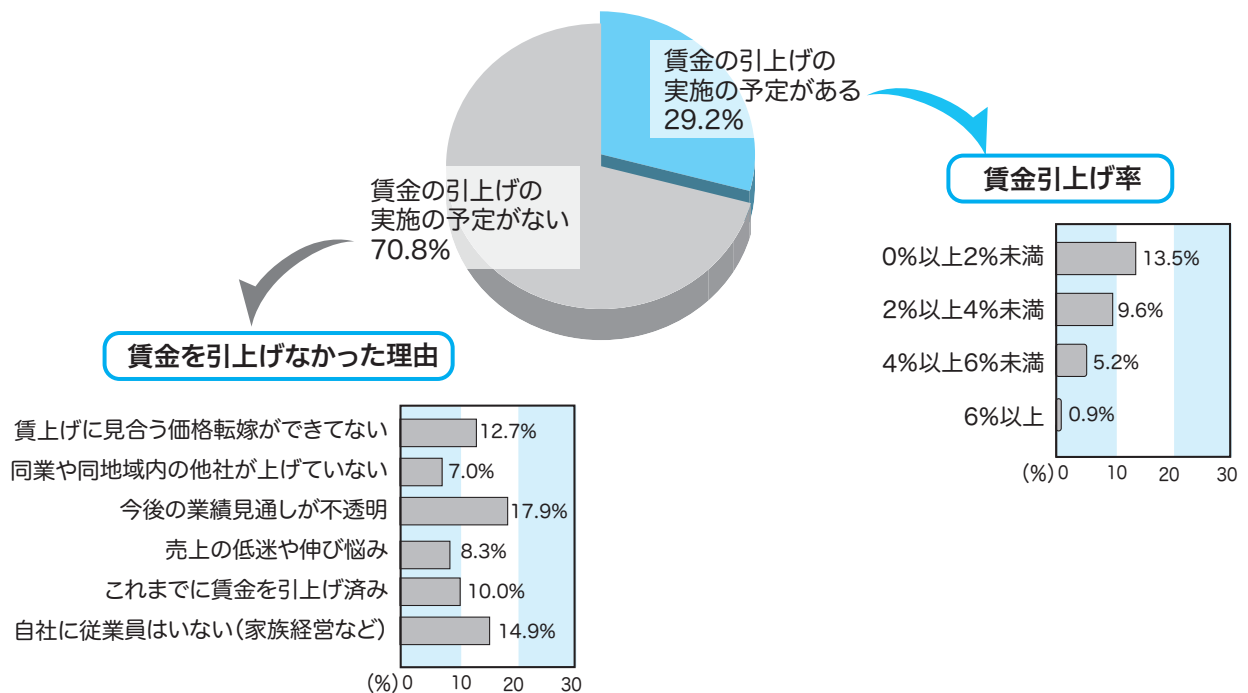
問4

貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについてお答えください。行っていない企業は、行っていない理由についてお答えください。



問5

貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む。)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率についてお答えください。また、引上げない方は引上げなかった理由についてお答えください。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただく
と結城信用金庫のホームページに
アクセスできます。

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている
提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、
各種ローンをご利用される場合、
特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から
年1.50%
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 **500万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

ブライダルローン

ご融資金額 **500万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

カーライフプラン

ご融資金額 **1,000万円以内**

ご利用期間 **15年以内**

教育プラン

ご融資金額 **1,000万円以内**

ご利用期間 **16年以内**

子育て応援プラン

ご融資金額 **100万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

リフォームプラン

ご融資金額 **1,000万円以内**

ご利用期間 **15年以内**

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

2026年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどを
テーマに写真コンテストを開催中！

応募作品の中から優秀作品を選定し、2026年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296) 32-2110 FAX (0296) 33-0414
<https://www.shinkin.co.jp/yuki/>